

美里かぼちゃ試験品種試食会 (R6. 1. 25) の開催 (宇城)

2024. 5

美里町では、冬至や年明けに出荷する、いわゆる「冬至かぼちゃ」の産地化が行われてきました。

品種は、ホクホクして美味しい「くりゆたか」に統一されていますが、樹勢がやや弱く収量が低いことが問題で、農家から「経費が高騰しており、美味しくて収量が多い品種が欲しい」との声が強くなっていました。

そこで、宇城支部では、種苗メーカー等から情報を集め、「笑盃^{しょうはい}」と「MKS-K1586」という2品種の試作を農家の協力を得て行いました。

結果は、「MKS-K1586」が、樹勢も強く、果実が大きく、試験農家やJA、町の担当職員の反応も上々でした。

加えて「美里かぼちゃ」として譲れない「味」を確認するため、1月25日に試験農家、町、JA、種苗会社とで「美里かぼちゃ試験品種試食会」を開催。試食の結果は、「MKS-K1586」は食味も「くりゆたか」並みで「栽培と味」の両面で有望であると出席者の期待を集めました。

今後、宇城支部ではこの品種の展示ほを設けるなど、「美味しくて収量が多い品種が欲しい」という農家の声に応じて行きたいと考えています。



試作品種の平均的な果実



試作品種試食会 (1月25日)

(一社)熊本県野菜振興協会宇城支部
(県央広域本部宇城地域振興局 農業普及・振興課野菜産地づくり支援班)